

三豊市・観音寺市内全小学校・中学校で 30人以下学級を実現すること！ 多忙化解消・業務改善を進めること！



発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
Tel 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1



要求を聞き取る大平幸男教育長



要求を聞き取る小野英樹教育長

「三豊・観音寺市教委に30人以下学級実現など要求」
三豊・観音寺の教育をよくする会（澁谷光博会長）は署名に協力してくれた三豊地区労をはじめとする諸団体の仲間と共に二月八日三豊市の小野英樹教育長、二月九日観音寺市の大平幸男教育長に30人以下学級実現などを要求しました。

香教組署名で、多忙化を解消し、明るく働きやすい職場を！

三豊市教育委員会教育長 小野 英樹 殿
観音寺市教育委員会教育長 大平 幸男 殿

三豊・観音寺の教育をよくする会会長 澁谷光博

ゆきとどいた教育を求める要求書

【要求の趣旨】

いま貧困と格差拡大が子どもたちの教育に大きな影響を与えています。私たちは憲法、子どもの権利条約に基づいて、すべての子どもたちに確かな学力と民主的な人格を形成する教育を実現しなければならないと考えています。こうした趣旨の下に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」に取り組み、今年度は三豊・観音寺市で1940筆を集約しました。その活動の中で、三豊・観音寺の教育について以下のような声があがっていました。

早急に改善されるよう強く要求します。

【要求事項】

- 1、全国学力テストや学習状況調査はやめるよう働きかけてください。
- 2、子どもと直接向き合う正規の教職員を増員し、すべての小・中学校で、30人以下学級を実現するよう国や県に働きかけてください。
- 3、教職員の勤務時間を守るよう指導してください。また、教職員の多忙化を解消するために多忙化の原因を分析し、多忙化を解消するよう努力してください。とりわけ、部活動に関する通達を全教職員に周知し、具体化するよう指導してください。
- 4、教育支援員は、その学校の実情に合わせて配置してください。
- 5、小・中学校の教材費、給食費など学校納付金を無償にしてください。
- 6、その他（夏休み短縮・土曜授業・無料塾等）

小野英樹教育長は、よくする会の「前三豊市教育長は、各校に過去問をするよう勧めた経緯があるようだ。現在の市教委はどうだ？」の質問に対して、「三豊市は（過去問を）勧めるようなことはない。点取り主義にならぬよう結果を公表しない姿勢でやっている。過去問より基礎・基本の方が大切である。」と答えた。三〇人以下学級実現に対し

大平幸男教育長は、よくする会の「校長が学テ・状況調査の平均点ばかりを気にする傾向にあり、過去問を実施する学校が増えた。最初の趣旨からはずれている。正に点数

では「我々も努力している。県や国に伝える。三豊市では、支援員の雇用予算を充実させている。評価して欲しい。」と回答した。多忙化解消については、「次の若い世代に教職を選択してもらえないような働きやすい魅力ある職場にしないとイケない。」と答えた。よくする会からは、「小中の部活動が過度にならぬよう対策を講じて欲しい。」などの意見が出た。

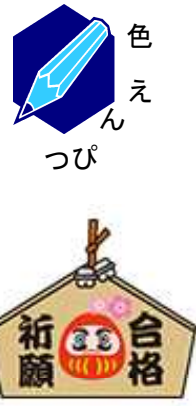
夏休み短縮に関しては、「三〇人以下学級実現に対しては、私も（よくする会と同じ思いだ。国や県が動いて、教員定数増や正規な加配をして欲しい。」と答えた。多忙化解消に関しては、「事務量や会議などを減らすよう考えている。学校に

偏重主義に走っている。過去問をしないように言って欲しい。」との質問に、「基本的には、よくする会と同じ思いである。平均点で喜ぶ一憂するようなことは良くない。平均点を上げよ。」などと発言していないし、平均点は気にしていない。テストの為のテストではない。学力の底上げが大事である。」と回答した。

○今年もインフルエンザが流行し、いくつかの学校が学級閉鎖等の措置をとった。インフルエンザと言え、昨年は、ある学校で職員のインフルエンザ感染に対し、校長が勤務を強要する出来事があった。これに対し西部教育事務所は「適切ではないと考える。」とコメントしたが、なぜそのような失敗が起こったのか。学校はある意味、閉鎖的な所である。常に社会の常識にも目を向けておかなければならない。特に、校長の自分勝手な常識や判断ミスは周りに迷惑を与える。

管理職評価!?

○ある学校では、新入生説明会で校長が「世の中に出たらすべて競争です。我慢できない子は将来、給料が安い。」などと話したようだ。希望を胸に入學してくる子どもにもっと夢のある話ができないものか。○今年には地震があった。ある学校の校長は、教員の避難誘導に差があったことを子どもたちの前で注意したようである。大変、大人気ない言動だ。職員たちは怒っている。○ある学校では、ノー残業デーを設定しているが、職員は仕事が多くてなかなか帰れない。なのに校長は、「持つて帰ってやりませ。」などと云った。それは違うでしょ。あなたの業務改善対策が足りないのです。



ている。問題は部活動だが、三観では外部講師が確保できにくいので、教員に頼らざるを得ない。」と回答した。夏休み短縮に関しては、「昨年度に検討した結果、当分はしないと決定している。東京などの考え方と三観は大分違うと思うので、夏休み短縮や土曜授業も当分はない。先生方は今現在でも土日に学校へ行っているほど忙しいし、子どもたちを地域や家庭へ返すという目的もあるので、。」と述べた。二学期制導入時には、三観は的確な判断ができた。今回もそう願いたい。